

# やすナ!!



安田中1年生の間伐体験 (協働の森づくり事業)

## 令和7年9月定例会

町長行政報告	2
一般質問 1氏が問う	6
条例改正	7
令和7年度補正予算	7
令和6年度決算認定ほか	8

## 令和7年8月臨時会

契約締結	9
令和7年度補正予算	9

9月10日開会。条例改正、令和7年度補正予算、令和6年度一般会計・特別3会計及び簡易水道事業会計の決算認定等、9議案を審議、1氏が一般質問を行い、12日に閉会した。

## 行政報告(概要)



黒岩町長

当たるスタンプラリーを実施し大盛況であった。

次に、県の掲げる関西戦略の一環として、8月22・23日の2日間、大阪・関西万博会場で「エキスポ2025 高知の祭典 ワールドよさこい デイ」が開催され、本町から「味工房じねん」「菓福」が参加。本町の特産品をPRすることができた。

## 町営事業の進捗状況

### ◆各種イベント◆

8月9日開催の「安田の夢まつり」は、秋雨前線の影響により天候が悪い中、

地域住民や帰省客を中心に

よう周知に努める。

地域商品券配布事業は、

子どもたちの元気な踊りや町の魅力あふれるグルメを堪能いただいた。また、今年は、町制施行100周年記念として、町の特産品が

### ◆物価高騰対策◆

定額減税に係る不足額給付は、対象者290人に通

知。申請期限は10月31日で、全対象者の方が申請できる

よう周知に努める。

地域商品券配布事業は、物価高騰の影響を受けた生

活者支援として、1人あたり7千円分の「がんばるやまだ応援券」は6月1日から10月末を使用期限として

### ◆ふるさと納税◆

本年度から大手返礼品サ

イトへの登録や激化する自

治体間競争への対応として、

専門知識・経験を有する中

間事業者への業務委託を開

おり、8月末現在で1180万7千円、75・33%の使

用実績となっている。

おり、8月末現在で1180

0万7千円、75・33%の使

用実績となっている。

約1000人が会場を訪れ、

地域住民や帰省客を中心

に

よ

う

周

知

に

努

め

る

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

よ

う

活用していく。

◆やすだソーラーパワー◆

令和6年度事業決算による本町への株主配当収入は780万円。社会貢献と収益の地域還元として、安田中学校1年生への防災グッズのほか、自主防災組織に

対してポータブル電源を寄贈する計画。



寄贈されたポータブル電源・折りたたみソーラーパネル

や、県東部自治体の連携による移住フェアに参加するなど、移住者獲得に努め、本年度から新たに移住スカ

ウトサービスSMOOTH(スマウト)を活用し、本町での暮らいや、住まい・仕事などの情報を積極的に発信している。

移住希望者が本町での生活等を体験できる、お試し滞在施設等を活用する際に、県の人口減少対策総合交付金を活用し、交通費の支援を行っていく。

移住希望者の住まいの確保については、移住相談員が空き家の調査・確保に努めており、移住希望者のニーズに沿える空き家の確保を推進している。

特定地域づくり事業協同組合「うえるかむ安田協同組合」は、組合員の加入促進を図るため、事業者への説明会を開催し、新たに宿泊業や酒造業など7事業者が加入、組合員数は15事業者となっている。今後も、町内事業者の加入を推進し、

早期に職員を雇用し、事業者への派遣を開始できるよう支援を行っていく。

◆中山間振興ビジョン◆

本年度から令和8年度までの2年間、ゆず園地の草刈り作業の労力軽減を目的

◆集落活動センター・多目的交流センター等の活動◆

8月22日から29日まで「多

目的交流センターなかやま」を拠点に、地域を学ぶGL

25日に機器の納入があり、ゆず農家への周知と貸し出しを開始した。

OCA Lプログラム(旧SUIJI)が実施され、高知大学と台湾の大学生18人が、中山地区の歴史や自然、文化について地域住民から聞き取り調査を行い、中山の魅力を学んでいる。

「多目的交流センターなかやま」の映像村では、県内のダンスグループ等の動画撮影の利用や、施設利用を目的にした見学者が多く訪れている。

◆特定健診◆

特定健康診査については、中山公民館と文化センターでそれぞれ集団健診を実施。令和7年度から前立腺がん検診も無料で受診できる。

今後も、特定健診及び各種がん検診の受診率向上対策、健康意識の醸成に取り組み、医療費の削減に努め

园芸用ハウス整備事業を

◆農業振興対策◆

活用し、中古ハウス3棟、27aの改修が完了、JAサポートハウスや指導農業士のもとで実践を積んだ新規就農者が作付け準備に取りかかっている。

7月から、指導農業士のもとで1人が新たに研修を開始、町営サポートハウスとJAサポートハウスでもそれぞれ1人がナス栽培の実践に取り組んでいる。

担い手確保及び支援対策の状況は、11月に東京で開催される「新農業人フェア」に参加し、担い手の確保に努める。

## ◆道路整備等の状況◆

阿南安芸自動車道  
「安田

「安芸間に相樂の三ヶ所」  
設計やトンネル地質調査、

唐浜地区の一部の区間で用地の取得に取り組んでいる。

「奈半利（安田間）」は、道  
路計画に必要なボーリング  
調査や設計を行つておひ、

設計説明会の早期開催に向けて準備を進めていく。



## 職員の初動対応訓練

地域の意見等を取りまとめる対策協議会を10月を目標に設立し、関係機関と連携して、早期完成に向けて取り組んでいく。

## ◆各種事業の進捗状況◆

化に向け小川工区で路側などの道路改良工事が進められている。

◆南海地震・防災対策◆

町内一斉避難訓練を8月31日に実施。安田地区は津波を想定した避難訓練、中

山地区は防災行政無線による情報伝達訓練を実施。約400人の住民が参加した。今後も、地域の実情にあつた訓練を計画し、町民一人ひとりの防災意識の醸成を図る。また、全職員対象の初動対応訓練として、災害シナリオを用いた情報整理訓練を実施した。

# 開かれた 町政運営

◆対話と協働◆

昨年度に引き続き、補助金を活用した防災対策の推進、耐震診断・家具転倒防

教育行政の状況

2025 年度全国学力・  
学力測定

中学生3年生は全教科が、県平均と全国平均を上回る好

結果となる。たゞ小学6年生は、全教科とも県平均、全国平均を下回る結果となつた。

なった。児童生徒の学力や学習状況を把握・分析する

上は

止対策事業の周知徹底、戸別津波避難カルテの作成、地域ごとの避難訓練の実施の4項目について重点的に取り組む。

ことによって、教育施策の成果と課題を検証し、授業改善に取り組む。

7月9日から11日までの3日間、中学3年生11人が、地場産品販売センター土佐の元気市など11事業所で職場体験学習を実施。

小学校のプール改築工事は、夏休み期間中に主な解体工事は終了した。

中学校エレベーター設置工事は、1学期終業後、工事に取り掛かっている。両施設とも安全対策、授業への配慮を行いながら工事を進めている。

さくら園、小中学校での外國語教育振興、文化センター教室の英会話サークルなどで、ご尽力いただいたALTのオースティン・ジョーダンさんが、7月末に3年9ヶ月の任期が満了し退任。後任に、イングランド出身のマシュー・キーマン・イーさんさんが着任した。

### ◆社会教育◆

町制施行100周年記念

事業の一環として進めている『新編 安田文化史』は、町制施行100周年記念式典で披露する。また、本編の概要版を現在制作しており、全戸配布を予定。

### ◆開業医誘致の取り組み◆

開業以来18年間にわたり、町の地域医療を担っていた「なかとう医院」が令和2年3月に閉院したことに伴い、高齢の患者が不安を感じるなど、通院していた住民の方々から循環器等の専門医を確保してほしいとの要望があつて、町としても開業医誘致における、県、医療関係者や大学等に依頼し、誘致に取り組み、これまで、県の紹介等による医師と開業に向けた協議を進めてきたが、最終的に開業には至っていないのが現状。

約6年間誘致に取り組んできたが、地域の人口減少や医療人材確保の面からも診療所の経営が厳しいことや旧なかとう医院の建物は、

雨漏り等老朽化が進み修繕が必要となってきた。こうした要因も含め、現状では誘致は難しいと判断し開業医誘致を断念することと考えている。



旧なかとう医院

## 議会を傍聴してみませんか

議会は公開が原則です

皆さんお気軽にいでください

\*次回の定例会は、12月上旬にひらかれます。

# 一般質問

## ここが知りたい

A	Q
<b>高知県の定める備蓄方針に基づき、必要な備蓄品など災害への備えは万全か</b>	<b>避難所の環境整備状況について、備蓄要数を確保する</b>



安並議員

問 南海トラフ地震の30年以内の発生率が引き上げられ、また、昨年初めて南海トラフ地震臨時情報が出されるなど、通常時の備えの大切さが改めて見直されている。第1次国土強靭化中期計画でも、避難所のガイドラインが改定され、避難所の環境改善を具体的に進める内容となっている。自

治体は、災害基本法に基づき避難所の指定・開設・運営の責任を持たなければならぬが、実際の運営は地域住民の協力のもと運営される「協働型の運営」がなされている。しかし、地域住民は避難所の設備や備蓄品について国が定める改善内容まで把握していない。いつ災害が起こるか分からぬ状況において、町内の避難所の環境整備がどうのようになつていいか確認し情報を地域住民と共有し防災・減災に努めていただきたい。

答 国が示す取り組み指針は、平成23年3月の東日本大震災後の平成25年8月に策定され、その後、新型コロナ感染症対策や避難所での生活環境等の改善、また、女性の視点を踏まえた避難所運営など、必要に応じ改定がされている。

改定後の指針では、市町村等において地域の特性や実情を踏まえつつ、物資やトイレ、食事の質や生活空間の確保など、人道支援活動における国際的な基準であるスフィア基準に沿った対応が求められている。

このスフィア基準では、例えばトイレの確保については、発災後初期の段階では、50人に1基、女性と男性の割合が3対1。また、居住スペースについては、1人あたり3・5平方メートルの



手島総務課長



避難所となる文化センター多目的ホール

確保、入浴施設も50人に1つ設け、男女別に提供することを求められている。

ご質問の本町での整備状況は、現在、高知県の定めた8品目について公的備蓄の確保を進めているところであり、令和6年度末時点では5品目について必要数を確保し、残る3品目も順次確保を進めて

いる。

また、内閣府の取組指針にあらゆるような、避難所での居住スペースや入浴施設の確保までは至っていないところから、不足する部分については、国や県との連携に加え、民間事業者等との協定なども視野に入れた供給体制の強化により、避難所における良好な生活環境の整備についても検討していきたないと考えている。

# 条例改正

◆職員の育児休業等に関する条例の一部改正◆

地方公務員の育児休業等



旧安田郵便局

審議結果…全員賛成(可決)

に関する法律の一部改正に伴い、仕事と生活の両立支援の充実を図るため、育児休業のうち部分休業制度の拡充を行うもの。

内容

育児休業、介護休業等育児または家族介護を行う労働者の福祉に関する法律等

○一般会計(第3号)  
○職員の人事異動等に伴う人件費の追加

○国保会計(第1号)  
○子ども・子育て支援金制度導入に伴うシステム改修委託料の追加

◆職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正◆

○一般会計(第3号)  
○職員の人事異動等に伴う人件費の追加

○国保会計(第1号)  
○子ども・子育て支援金制度導入に伴うシステム改修委託料の追加

補正後の予算総額  
36億7560万円

の一部改正に伴い、妊娠、出産を申し出た職員または3歳未満の子を養育する職員に対して、仕事と育児との両立支援制度及び措置等について周知や、利用に係る意向確認のための措置を講じるもの。

○後期高齢者医療システム改修委託料の追加  
○空き家活用耐震化促進事業費補助金の追加  
○地域猫活動補助金の追加  
○財政調整基金の法定積立金の追加

3000万円  
2855万円  
381万円  
530万円  
639万円追加  
115万円  
179万円  
3050万円  
393万円  
770万円  
3960万円  
など

補正後の予算総額  
4億2339万円

質疑

問(黒岩議員)

地産外商促進センターの工アコン更新の内容は。

◆令和7年度町一般会計及び国民健康保険事業特別会計補正予算◆

内容

本年度事業に係る追加、減額措置を行うもの。

総額9100万円追加

など

問(鶴田議員)  
空き家活用耐震化促進事業2件の場所はどこか。ま

た、U-Iターン交通費支援事業費補助金とはどんなものか。

答 耐震設計・改修は薬師、正弘地区の2件を計画している。U-Iターン交通費支援は、U-Iターンを希望する者に対し、かかった交通費の一部を補助するもの。

のとおりとなっている。

### 質疑

問(中島議員) 農業振興基金から130万円を取り崩し支出しているがその内容は。

答 中芸集出荷場のオクラ自動包装機4台の新規導入に対し、町の負担分として支出したもの。

て、進捗状況は。

答 令和6年度末時点では249世帯21・3%の少ない回収実績であった。今後も、配置職員の制度を活用し回収に努めていきたい。

### 問(小松憲次議員)

住宅用太陽光発電システム等設置補助金について、太陽光パネルと蓄電池を合わせ1件あたり高額な補助となっているが、設置後の効果は出ているか。

答 令和6年度の交付実績は、1件が太陽光パネルと蓄電池を同時設置、2件が蓄電池のみ設置となっている。設置後の効果は、特に報告等求めめていないことから効果の把握はできていない。



安田まちなみ交流館・和のレンタサイクル

### 内容

◆令和6年度町一般会計及び特別3会計(国保・後期高齢・土地開発)・簡易水道事業会計の決算認定◆

# 決算

### 審議結果…2件とも全員賛成(可決)

問(安並議員) 南海トラフ地震等防災対策として、現在行われている避難所カルテ作成について

問(田之上議員) 魅力あふれるまちづくり活動促進事業補助金の実績状況は。

交付実績であった。

問(鶴田議員) 町税収入で農業所得が伸びているが、その要因をどのように捉えているか。

答 令和6年度実績は23団体に交付している。年々、地域が使いやすくなるよう制度も改正しており、過去最高の

年は農業経費が高騰する中で、町としてもできる限りの支援を行ってきた。これらの効果が一定出てきていると思われる。

水道事業会計は、総費用額(支出)1億1240万円であり、各会計の決算状況は、※別表

答 本町は各種の農業施策を取り組んできた。また、近

審議結果…5件とも全員賛成(認定)

## 別表 令和6年度 岁入歳出決算額

(単位:円・%)

区分	予算現額	決算額		歳入歳出差引額	執行率	
		歳入	歳出		歳入	歳出
一般会計	3,300,411,000	3,078,395,909	2,992,509,830	85,886,079	93.27	90.67
国民健康保険事業特別会計	430,720,000	392,229,696	391,133,904	1,095,792	91.06	90.81
後期高齢者医療事業特別会計	54,760,000	54,255,602	53,974,647	280,955	99.08	98.57
土地開発事業特別会計	300,000	223,156	151,680	71,476	74.39	50.56
特別会計小計	485,780,000	446,708,454	445,260,231	1,448,223	91.96	91.66
合計	3,786,191,000	3,525,104,363	3,437,770,061	87,334,302	93.10	90.80

## 令和6年度 簡易水道事業会計事業費用に関する事項

(消費税及び地方消費税抜き)

(単位:円)

事項	令和6年度
項目	金額
営業費用	104,285,189
営業外費用	7,714,055
特別損失	401,740
合計	112,400,984



問 (鶴田議員)  
焼山堰で行う護床ブロックの製作は、稲刈り時期と

質疑

3社による指名競争入札の結果、(有)松本工業との約5,999万9,500円で契

老朽化が著しい中央部の小わざ魚道の整備と、河床洗掘防止の護床ブロック設置などを行うもの。

内容

◆下島頭首工機能保全工事  
(明許)◆

◆契約締結

令和7年8月13日開会、  
契約締結、一般会計補正予  
算を審議し、同日閉会した。

第4回臨時会

答 周辺に田んぼもあることから、所有者と調整をしながら、支障がないよう施工していく。

補正結果・全員賛成(可決)

補正後の予算総額  
35億8460万円

○定額減税不足額給付事業  
費の追加

510万円

内容

◆令和7年度町一般会計予  
算(第2号)◆

◆補正予算

## 賛否表（令和7年9月定例会）

○：贊成

●：反対 欠：△

次席

▲ : 除

二

：議長

## 賛否表（令和7年8月臨時会）

○：贊成

1

文獻

欠腐

### 三 除斥

— 3 —

議長

## 議会のつどい

— 9月 —

3日＝議員協議会  
5日＝議会運営委員会  
議会広報編集委員会

23日＝議員のなり手不足対策特別委員会

25日＝第2回安田町町制施行100周年記念事業実行委員会

31日＝市町村議会議員研修（高知市）

— 8月 —

18日＝中芸教育振興協議会総会  
19日＝産業厚生常任委員会視察研修（吉良川町）

24日＝第3回中芸広域連合議会定例会  
25日＝四国四県町村長・議長大会（高知市）

3日＝中芸広域連合消防大会  
5日＝四国8の字ネットワーク整備促進四国東南部連盟夏期要望（東京都）

（東京都）

— 10月 —

1日＝総務教育常任委員会視察研修（岡山県）

2日＝議会広報編集委員会

5日＝町制施行100周年記念式典（高知市）

6日＝奈半利室戸道路建設促進協議会（高知県）

8日＝第63回四国地区町村議会議長会（高知市）

9日＝安田川分水対策委員会（高知市）

10日＝安田町・馬路村議会議員の合同研修会（馬路村）

25日＝四国8の字ネットワーク整備促進四国東南部連盟総会・整備促進大会（安芸市）

11日＝高知東海岸グルメまつり＆鉄道の日イベント開会セレモニー（安芸市）

18日＝県選出国会議員と町村長・町村に対する意見交換会・懇談会（高知市）

（高知市）

## 編集後記

大きな災害が起きると、店舗やネット通販では防災グッズの売り上げが急増する。人々の危機意識が一時的に高まり「備えなければ」と行動に移すからである。しかし、「喉元過ぎれば熱さを忘れる」という言葉のように、災害の記憶は日常の中で徐々に薄れて、3ヶ月を過ぎると、防災グッズの売り上げも急激に下がってくる。

けれども、自然災害はいつ、どこで起こるかわからない。

力月を過ぎると、防災グッズの売り上げも急激に下がってきます。けれども、自然災害はいつ、どこで起こるかわからない。

力月を過ぎると、防災グッズの売り上げも急激に下がってきます。けれども、自然災害はいつ、どこで起こるかわからない。

だからこそ、平時からの備えが命を守る鍵となる。水や食料、非常用持ち出し袋の備蓄はもちろん、家族との連絡手段や避難経路の確認も重要である。一度備えたら終わりではなく、定期的な見直しが必要である。

忘れた頃にやってくる災害に備え、常に危機感を持ち、防災を暮らしの一部として根付かせよう。

（編集委員 安並）



### 議会広報編集委員会

議長 佐竹 正利  
委員長 内川 一則  
副委員長 黒岩 仁  
委員 安並 健太  
委員 田之上 功裕  
委員 鶴田 瑞夫  
委員 中島 亀代志

総務教育・産業厚生の両常任委員会は、このほど所管事項調査を行い、その結果を次のとおり議長に報告した。

### 総務教育常任委員会

開催日 令和7年8月20日

より実績が低い。事業普及のためにも啓発は重要と考える。今後も十分な普及啓発に努めたい。

#### 調査事項

- ①令和6年度総務課・地域創生課・教育委員会の主要事業の実績について
- ②視察研修について
- ③その他

#### 経過

総務課・地域創生課・教育委員会から資料に基づき説明を受け、協議の結果、次のとおりまとめを行つた。

#### 調査結果

- ◎災害対策の助成事業について、木造住宅耐震化については一定の成果が見られる一方、ブロック塀の耐震対策事業は前年度



総務教育常任委員会

### 産業厚生常任委員会

開催日 令和7年8月21日

立っている。漁業協同組合の専属職員不在の問題も含め、適切な管理を望む。

#### 調査事項

- ①令和6年度経済建設課・町民生活課の主要事業の実績について
- ②国民健康保険事業財政勉強会
- ③視察研修について
- ④その他

#### 経過

経済建設課・町民生活課から資料に基づき説明を受け、協議の結果、次のとおりまとめを行つた。

#### 調査結果

- ◎漁港及び周辺において、ごみの散乱が目



産業厚生常任委員会

## 各常任委員会の所管事項調査